

大橋あきお

大阪府議会議員

通信

令和5年
新春号

発行：大橋章夫府政事務所

〒573-0027 枚方市大垣内町2-17-5 ダイショウビル301

TEL: 072-861-0117 / FAX: 072-861-0116

<https://ohashi-a.com/>



■本会議場で一般質問する大橋あきお府議

大阪府議会の質問より

新名神高速道路、淀川左岸線と第二京阪沿道のまちづくり

現在、新名神高速道路は名古屋方面行の天津ジャンクションまでの区間を令和6年度、兵庫方面行の高槻ジャンクションまでの区間を令和9年度に開通させる予定で進められている。開通すれば、東京、名古屋方面へは従来の名神高速道路、京滋バイパスに加え、三つ目の高速道路が利用できるようになる。また、第二京阪を大阪市内方向に進むと、近畿自動車道の門真ジャンクションから阪神高速淀川左岸線の整備が進められていて、大阪ベイエリアや兵庫

大橋あきおは、大阪府議会9月定例会の本会議、都市住宅常任委員会において、府民の皆様からいただいたお声、ご相談をはじめ、府の諸問題、地元枚方市のインフラ整備などについて質問した。

方面へアクセスできるようになる。第二京阪にこの二つの高速道路が接続することにより、枚方市、交野市の第二京阪沿道は交通の要衝になってくる。

大橋あきおは、大阪府にとっても重要な第二京阪沿道のまちづくりについて、大阪府の見解を聞いた。大阪府は、第二京阪沿道の立地ポテンシャルを活かすために、「産業拠点・集積エリア」と位置づけ、地元市と連携した沿道まちづくりへ取り組んでいくと答弁した。

京阪光善寺駅前のまちづくりについて

昨年9月11日、京阪本線連続立体交差事業の起工式が行われ、用地も約9割の取得が完了、いよいよ枚方市駅から寝屋川市駅までの高架化工事が開始される。

このような中、京阪光善寺駅前のまちづくりは、市街地再開発事業として商業施設、高層住宅の建設と合わせ、都市計画道路や駅前広場の整備が進められている。完成すれば、国道1号線から17メートルに拡幅された道路を通り駅前広場にアクセス、そして新駅舎につながり、魅力ある環境に一変する。

大橋あきおは、地元光善寺駅前のまちづくりに対する、大阪府の支援や協力について質問した。

大阪府は、これまでも技術的な支・指導、権利変換計画の認可を行ってきた。引き続き、再開発事業に必要な技術的なアドバイスとともに、事業費についても支援していくと答弁した。

淀川渡河橋 府道牧野高槻線

大橋あきおは、淀川には、枚方市の国道170号の枚方大橋から京都府八幡市の御幸橋までの約12kmの間に橋がないために、渋滞や防災機能の強化など、さまざまな観点から新たな橋の整備を強く要望してきた。

現在、測量等が進められているが、枚方市や関係者と連携して用地買収を進め、工事に着手するなど、一日も早い完成に向けて取り組むように求めた。

大阪府は、土地の測量や地権者との立会は概ね完了、今後、地権者との交渉を進めるとともに、今年度中に枚方市域の調査を完了する予定。早期に工事着手できるよう、地元市の協力のもと、地権者との協議を進め、着実に取り組んでいくと答弁した。

枚方市駅周辺のまちづくり

枚方市が進めてきた枚方市駅周辺のまちづくりでは、大阪府の北河内府民センターが駅前に移転し、跡地に枚方市が国とともに合同庁舎を整備するという方針で進んできた。このような中、先の枚方市9月議会において、市庁舎の移転条例が特別多数議決による3分の2を満たさず否決された。

大橋あきおは、大阪府の引き続きの支援について、吉村知事に質問した。知事は、枚方市駅周辺のまちづくりは、枚方市のみならず広域的に効果が波及する大事な事業である。今後も枚方市がまちづくりに取り組めるように、引き続き協力していくと答弁した。



組

支援教育

今年4月に文部科学省より、支援学級のあり方についての通知が枚方市に届いた。枚方市はこれまで、支援学級の児童・生徒もできる限り通常学級で学べる環境を整えてきた。しかし、その見直しを迫る文科省の通知に沿った教育を来年度から始めようとした市教育委員会の方針が保護者の不安を招き、大橋あきおに相談の連絡が入った。大橋あきおは、枚方市議とともに保護者の代表と何度も意見交換を重ね、同時に枚方市長、教育長、また府の教育委員会とも議論してきた。

結果、市教委は方針を撤回し、保護者への丁寧な説明、対話を約束した。大橋あきおは、府議会でもこの問題を取り上げ、本人や保護者が不安を抱かないよう丁寧に対応し、教員の配置や支援教育に対する専門性の向上も大阪府が責任を持つように求めた。府教育長は、児童生徒の障がいの状況に応じた適切な指導がなされるように充実に努めると答弁した。